

新型コロナウイルス感染症対応初動フロー（高齢者施設等）

平時からの準備

利用者・職員の健康状況やその変化を毎日把握(検温必須)
職員は発熱などの症状が認められる場合には出勤しないことを徹底



疑い事例発生時(発熱・咳などの風邪症状、強いだるさや息苦しさの症状出現)

1 情報共有・報告

速やかに施設長等へ報告 施設内で情報共有 組織的に対応開始
施設協力医等に連絡し指示を受ける **受診（検査）**
施設協力医とは協力医療機関医師や主治医
家族へ連絡

2 感染拡大防止対策実施

個室隔離（できない場合はベッドの間隔をあける、カーテンで仕切る）
感染が疑われる利用者に対応する職員は、可能な限り分けて対応
職員の感染防護（マスク、ガウン、手袋、フェイスシールド等）、手指衛生
十分な換気
居室及び利用した共有スペースの消毒・清掃
（手袋を着用し、消毒用エタノール又は次亜塩素酸ナトリウム液で清拭等）
物品の在庫確認（平時から）

3 接触状況の整理

発症 1 4 日前以降の接触者をリスト化
本人と同室・長時間接触した**入所者**
適切な防護なしに本人を診察・看護・介護、気道分泌液等に直接接触した職員、**面会者等**



患者発生時 (PCR 検査結果陽性)

1 陽性者は原則入院

軽症の場合、例外的に施設内で経過観察する場合がある。
この場合、保健所よりゾーニングなどの対応指示あり

2 疫学調査に必要な情報を保健所へ提供（エクセル等電子ファイルが望ましい）

職員名簿、勤務表 有症状者の経過・ケア記録 接触者リスト
入所者、利用者名簿 施設の見取り図 面会者、外部業者等の記録
家族等の緊急連絡先、他に利用中の介護サービス、受診予定（透析等）の記載が望ましい

3 濃厚接触者等の PCR 検査検体採取方法について保健所と検討

4 指定権者（県・市町）に報告